

故・小泉秀雄先生の野帳 (10)

横内 文人*

The field books of the late Mr.Hideo Koidzumi(10)

Fumito Yokouchi

No.25 1923 年度 (大正 12 年度) 続き

大天井にかかる。チングルマ、ミヤマヌカボ。

頂上。クロウスゴ、クロマメノキ、コケモモ、ミヤマキンバイ、ダケカンバ、ウラシマツツジ、ハイマツ、シロシャクナゲ、ウシノケグサ、コケモモ、イワツメクサ、チシマギキョウ、オヤマソバ、タカネツメクサ、タカネキスミレ、イワベンケイ、オヤマノエンドウ、タカネニガナ、イワスゲ、チシマニンジン、ミヤマコウボウ、ミヤマガラシ。

頂上東面のお花畑。キバナシャクナゲ、オヤマソバ、オンタデ、ヒメイチゲ、ミヤマダイコンソウ、コイワカガミ、チングルマ、イワベンケイ、アオノツガザクラ、アキノキリンソウ、ミヤマゼンゴ、チシマニンジン、ミヤマメシダ。

絶頂付近。コマクサ、オンタデ、チングルマ、イ

ワベンケイ、タカネハハコグサ、タカネヨモギ、ウサギギク、ミヤマタネツケバナ、ツガザクラ、コメバツガザクラ、ミネズオウ、イワウメ、ミヤマコウボウ。

絶頂の河原。コメバツガザクラ、ミネズオウ、チングルマ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマヌカボ、トウヤクリンドウ、クロマメノキ、ウラシマツツジ。

喜作新道にかかる。コマクサ、ミヤマヌカボシノウ、イワツメクサ、イワウメ、チョウノスケソウ、シコタンソウ、ミヤマヌカボ、イワヒゲ、ヒメクモマダサ、タカネナズナ、タカネキスミレ、ミヤマタネツケバナ、ウシノケグサ、コスギラン、ミヤマキンバイ、コケモモ、ミヤマコウボウ、ミヤマクワガタ、ミヤマノガリヤス、チシマギキョウ、ベニシコタンソウ、チシマアマナ、チャボゼキショウ、ミヤマノガリヤス、カラマツ、ツガザクラ。

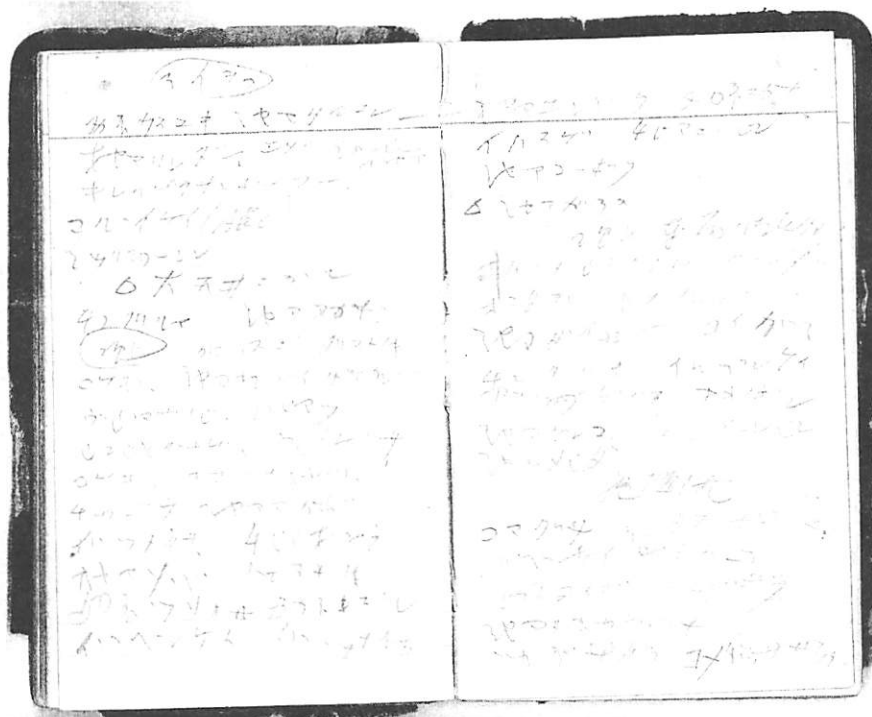


図1. 小泉先生野帳 (見開きの大きさは縦 13.2cm、横 16.2cm) No.25 の一部

* 横内文人 〒399-7402 長野県松本市会田 110

◎ 下り。牛首岳の始め。シナノキンバイ、キバナノコマノツメ、ハクサンチドリ、アオノツガザクラ、タカネヨモギ、ハクサンボウフウ、ムカゴトラノオ、ネバリノギラン、オンタデ、アキノキリンソウ、エゾノショウジョウバカマ、クロユリ、カラマツソウ、オオバキスミレ、ミヤマドジョウツナギ、トウヒレン、ユキザサ、コバイケイソウ、ミヤマトリカブト、ミヤマキンボウゲ、ミヤマキンバイ、ミヤマダイコンソウ、モミジカラマツ、キバナシャクナゲ、チシマニンジン、ミヤマホツツジ、タカネナナカマド、ショウジョウスゲ、キジムシロ、アラシグサ、オヤマリンドウ、タカネウスユキソウ、ミヤマアザミ、タカネスイバ、ヒトツバヨモギ、ツヤナシノデ、ウサギギク、テガタチドリ、タカネウラジロイタドリ、ヒメクワガタ、ミヤマヤナギ、ミヤマオトギリソウ、ハクサンフウロ、ヤマブキシヨウマ、ミヤマハナヒリノキ、コメススキ、ミヤマゼンゴ、エゾシオガマ、ウラジロナナカマド、クルマユリ、タカネアオヤギソウ、タカラコウ、ゲンナイフウロ、オタカラコウ、タカネザクラ、クモマスズメノヒエ、ミネカエデ、クロウスゴ、クロツリバナ、ハクサンイチゴツナギ、エンレイソウ、イワハタザオ、ミヤマクロボシ、オオヒョウタンボク、ユキザサ、オガラバナ、ヒメタケシマラン、マイヅルソウ、オオバショリマ、シラベ、ハイマツ、ミヤマメシダ、キレバサンカヨウ、サンカヨウ、クロクモソウ、ベニバナイチゴ、ミヤマワラビ、ウサギシダ、タテヤマキンバイ、ウメバチソウ、ミヤマタニタデ、タカネウスユキソウ、コイワカガミ、ゴカヨウオウレン、ミヤマクワガタ、イブキゼリ、カラマツソウ、ミヤマシシウド、ヤマハハコ、ヤマブキシヨウマ、タカネニガナ、ミヤマコウゾリナ、ナガバノキ、コメツガ、ミヤマコゴメグサ、ニガナ、シロシャクナゲ、アカモノ、エゾカンゾウ、ハクサンイチゲ、以上牛首岳。

これより赤岩岳。ミネズオウ、ガンコウラン、ミヤマシシウド、クロマメノキ、ハイマツ、カラマツ、ウラシマツツジ、ミヤマハンノキ、ダケカンバ、トウヤクリンドウ、ミヤマキンバイ、タカネニガナ、ヒメスゲ、ミヤマクワガタ。

お花畑。ハクサンイチゲ、タカネヨモギ、トウヤクリンドウ、オヤマリンドウ、チングルマ、ムカゴトラノオ、ネバリノギラン、シラタマノキ、アカモノ、コケモモ、タカネハハコ、ハクサンボウフウ、タカネスイバ、クロウスゴ、アキノキリンソウ、タカネアオヤギソウ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、ウサギギク、タカネウラジロイタドリ、ミヤマハンノ

キ、イワノガリヤス、コバイケイソウ、ミヤマハナヒリノキ、エゾカンゾウ、ミヤマメシダ、ハクサンチドリ、コケモモ、エゾノショウジョウバカマ、キバナシャクナゲ。

赤岩頂上。コケモモ、ウラシマツツジ、コメバツガザクラ、トウヤクリンドウ、イワウメ、ミヤマハンノキ、ハイマツ、ダケカンバ、オヤマリンドウ、ニガナ、アオノツガザクラ、チングルマ、タカネヨモギ、ハクサンチドリ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンボウゲ、ネバリノギラン、ムカゴトラノオ、タカネヒカゲノカズラ、コバイケイソウ、ミツバオウレン、コイワカガミ、エゾシオガマ、シナノキンバイ、トウヒレン、ハクサンボウフウ、クロウスゴ、ミヤマハナヒリノキ、ウサギギク、ショウジョウスゲ、シラタマノキ、ミヤマホツツジ、タカネダイヤモンドソウ、ミヤマクワガタ。

直下に太お花畑あり。イワツメクサ、チシマギキョウ、チシマニンジン、ミヤマヌカボ、コメススキ、ハナヒリノキ。

第二お花畑。タカネアオヤギソウ、ムカゴトラノオ、アカモノ、ウサギギク、クルマユリ、ハクサンフウロ。

第四お花畑。ヤハズトウヒレン、イワオウギ、イワツメクサ、ミヤマオトコヨモギ、ミヤマオダマキ、シコタンソウ、オオウシノケグサ、タカネニガナ、イワベンケイ、ミヤマヌカボ、ミヤマウイキョウ、トウヤクリンドウ、コバノツメクサ、チシマギキョウ、タカネミミナグサ、ミヤマアワガエリ、ミヤマハタザオ、ヤハズトウヒレン、タカネミミナグサ、ミヤマリンドウ、ミヤマクロスゲ、ミヤマクワガタ、オオバキスミレ、アラシグサ、エゾカンゾウ、ベニバナイチゴ、ハクサンイチゴツナギ、ヨツバシオガマ、アカモノ、ヒメクワガタ、ミヤマコウゾリナ、ミヤマトリカブト、ミヤマアザミ、ミヤマコゴメグサ。

◎ 西岳にかかる。ミヤマクワガタ、ミヤマオトコヨモギ、ミヤマゼンゴ、ミヤマリンドウ。

小池あり。昼飯。ベニバナイチゴ。

赤沢山頂（花崗岩）。クロマメノキ、ハイマツ、トウヤクリンドウ、コメススキ、コケモモ、キバナシャクナゲ、ミヤマハンノキ、シロシャクナゲ、ダケカンバ、ウラシマツツジ、ヒメスゲ、ミヤマダイコンソウ。

西岳西斜面下る。オオヒョウタンボク、ハリスゲ、タカネウラジロイタドリ、コバイケイソウ、ベニバナイチゴ、ハクサンフウロ、ミヤマキンボウゲ、シ

ナノキンバイ、ミヤマアザミ、トウヒレン、カラマツソウ、ハリブキ、モミジカラマツ、ズダヤクシュ、クロクモソウ、ミヤマゼンゴ、オクヤマシダ、アオヤギソウ？、アラシグサ、ミソガワソウ、タカネヨモギ、ナツユキソウ、ミヤマシシウド、ムカゴトラノオ、エゾシオガマ、イワノガリヤス、タカネスイバ、ミネカエデ、ユキザサ。

この辺、ダケカンバ林。オオバタケシマラン。

高瀬川□□沢への乗越を越す。ウスユキソウ、ヒメミヤママコナ、カラマツ、ミヤママンネングサ、エゾカンゾウ、ハナヒリノキ、ニガナ、タカネヨモギ、タカネアオヤギソウ、ウサギギク、コケモモ、ミヤマホツツジ、コイワカガミ、ダケカンバ。

また上る。オオバショリマ、ミヤマメシダ、ミヤマヌカボ、オクヤマシダ、ミヤマダイコンソウ、コメススキ、ミヤマハナヒリノキ、ウラジロナナカマド、アカモノ。

大槍殺生別れ道の下。ハクサンイチゲ、シナノキンバイ、トウヒレン、ミヤマキンボウゲ、コバイケイソウ、タカネウラジロイタドリ、アオノツガザクラ、タカネウスユキソウ、ヨツバシオガマ、エゾシオガマ、ミヤマダイコンソウ、オオバキスミレ、キバナノコマノツメ、クロユリ、ムカゴトラノオ、ヒトツバヨモギ、タカネスイバ、ベニバナイチゴ、ハクサンボウフウ、ミヤマホツツジ、タカネトウヒレン、ツガザクラ、ショウジョウスゲ、オオバショリマ、オオヒヨウタンボク、イタドリ、タカネアオヤギソウ、ネバリノギラン。

大槍小屋は、最大のモレーンの真上に建てり。

第三日目（7日）大槍小屋発。側面のお花畑。キバナシャクナゲ、コケモモ、ガンコウラン、コメバツガザクラ、ハイマツ、タカネナナカマド、ミネズオウ、コイワカガミ、コメススキ、チングルマ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマクロスゲ、アオノツガザクラ、タカネヤナギ、ミヤマゼンゴ、タカネウラジロイタドリ、キバナノコマノツメ、チシマニンジン、アキノキリンソウ、タカネヨモギ、イトキンスゲ、ミヤマキンバイ、ハクサンイチゲ、ウサギギク、イワツメクサ、ミヤマタネツケバナ、タテヤマキンバイ、トウヒレン、ベニバナイチゴ、オクヤマワラビ、ミヤマメシダ、クロウスゴ、イブキゼリ、タカネハハコグサ、オオバキスミレ、タカネショウジョウスゲ、エゾシオガマ、シナノキンバイ、ミヤマハンノキ、エゾノショウジョウバカマ、ミヤマオトギリ、ミソガワソウ、タカネスイバ、クロユリ、イワベンケイ、クルマユリ、ハクサンボウフウ、ミヤマ

タンポポ、ミヤマホツツジ、ヨツバシオガマ、キレハハクサンボウフウ、イワハタザオ、シロウマアカバナ、モミジカラマツ、カラマツソウ、ナツユキソウ、ミヤマクワガタ、タカネアオヤギソウ、タカネシバスケ？、ミヤマハタザオ、イワギキョウ、クモマスズメノヒエ、イタドリ、ヒメクワガタ、シロウマスゲ、ミヤマキンボウゲ、タカネヒカゲノカズラ、ツガザクラ、イワヒゲ、ミヤマヌカボシソウ、タカネダイモンジソウ、ミヤマガラシ、ヒメイワショウブ、ミヤマリンドウ、ミヤマホツツジ、タカネトウヒレン、クロクモソウ、オクヤマシダ、ミヤマオダマキ、チシマギキョウ、オンタデ、キヌガサソウ。

雪溪を渡る。タカネキスミレ、チシマニンジン。

頂東方。オンタデ、イワベンケイ、ハクサンイチゲ、シロウマスゲ、ミヤマキンボウゲ、キバナノコマノツメ、タカネハハコグサ、イワハタザオ、ヨツバシオガマ、タカネトウヒレン、タカネヨモギ、ウサギギク、アオノツガザクラ、クモマダサ、イワツメクサ、ミヤマオダマキ、クモマスズメノヒエ、ミヤマゼンゴ、タカネキスミレ、タカネスイバ、ミヤマクロスゲ、クロクモソウ、ヒメクワガタ、ミヤマタネツケバナ、オオツガザクラ、（山岳スケッチ 1 p. 省略）、ツガザクラ、イワヒゲ、ミヤマヌカボシソウ、タカネヤナギ、チシマギキョウ、イワオウギ、イワウメ、シロウマスゲ、シコタンソウ、イワスゲ、タカネイチゴツナギ、チシマアマナ、クモイハタザオ、ミヤマツメクサ、タカネシオガマ、コバノツメクサ、ヒモカズラ、トガクシナズナ、イワギキョウ、ミヤマシオガマ、ミヤマノガリヤス、ジンヨウスイバ、シロバナオダマキ、キバナシャクナゲ、ハクサンイチゲ、チシマクモマダサ、チシマイワブキ。

小槍を□検なり。ジンヨウスイバ。

槍ヶ岳を出発（10時）。ウラシマツツジ、ハクサンイチゲ、ミヤマシオガマ、ミヤマキンバイ、ミヤマダイコンソウ、ミネズオウ、トウヤクリンドウ、ミヤマリンドウ、ミヤマオダマキ、アオノツガザクラ、イワベンケイ、シコタンソウ、ムカゴトラノオ、イワツメクサ、ガンコウラン、イワウメ、タカネキスミレ、ミヤマノガリヤス、コメススキ、タカネウスユキソウ、ミヤマクロスゲ、キバナシャクナゲ、チシマギキョウ、ミヤマツメクサ、ミヤマヌカボシソウ、アオノツガザクラ、イワスゲ、トウヤクリンドウ、ミヤマガラシ、タカネウラジロイタドリ、ミヤマゼンゴ、ヒメクワガタ、ヨツバシオガマ、ヒメヨツバシオガマ、ウサギギク、ミヤマリンドウ、タカネトウヒレン、クモマツメクサ、シコタンソウ、

コバノツメクサ、チョウノスケソウ。

大喰岳にかかる。ミヤマキンバイ、イワツメクサ、コケモモ、キバナシャクナゲ、ミヤマクロスゲ、イワスゲ、ミヤマヌカボシソウ、ミヤマタネツケバナ、ウサギギク、クモマグサ、コスギラン、タカネヤナギ、イワヒゲ、アオノツガザクラ、ジムカデ、イワウメ、ハクサンイチゲ、ミヤマノガリヤス、コメバツガザクラ、トウヤクリンドウ、ミヤマダイコンソウ。

この辺、石英斑岩なり。チシマクモマグサ。

(中岳)大喰の頂の一部。コメススキ、コスギラン、タカネウスユキソウ、コメバツガザクラ、アキノキリンソウ、ヒメクワガタ、タカネウラジロイタドリ。

南岳にかかる。ハクサンボウフウ、イワツメクサ、イワスゲ、ヨツバシオガマ、トウヤクリンドウ、ミヤマキンバイ、コメバツガザクラ、ミヤマタンポポ、タカネウスユキソウ、イワベンケイ、ミヤマヌカボシソウ、ミヤマダイコンソウ、ガンコウラン。

中岳の頂より見下せるに大カールの凹崖、大モレーン(二段をなす)ありて槍沢に突出せり。ここより見れば、槍沢の氷河口の感あり。キレハハクサンボウフウ。

これより南岳にかかる。ウサギギク、ミヤマキンボウゲ、イワウメ、イワベンケイ、ミヤマシオガマ、ミヤマリンドウ、ミヤマヌカボシソウ、イワヒゲ、ミヤマノガリヤス、トウヤクリンドウ、ミヤマタネツケバナ、オオツガザクラ、キバナシャクナゲ、アオノツガザクラ、コイワカガミ、チングルマ。

下るに、イワスゲ、ミヤマダイコンソウ、コメバツガザクラ、ミヤマクロスゲ、ミヤマキンバイ、トウヤクリンドウ、イワウメ、ミヤマシオガマ、タカネウラジロイタドリ、イワツメクサ、ハクサンイチゲ、ミネズオウ、ガンコウラン、アキノキリンソウ、タカネヨモギ、ヨツバシオガマ、タカネウスユキソウ、コメススキ、ヒメクワガタ、アオノツガザクラ。

◎ 石英岩の大塊多し。ハクサンボウフウ、イワベンケイ、タカネダイモンジソウ、タカネトウヒレン、ハイマツ、ショウジョウスゲ、ダケカンバ、ミヤマシオガマ、イワツメクサ、ジムカデ、ミヤマヌカボシソウ。

南岳頂上(北穂高見ゆ)。ヒメクワガタ、ミヤマダイコンソウ、アオノツガザクラ、トウヤクリンドウ、ミヤマクロスゲ、ハクサンイチゲ、タカネウスユキソウ、ハクサンボウフウ、タカネウラジロイタドリ、ヨツバシオガマ、ツガザクラ、ショウジョウスゲ、コケモモ、シラタマノキ、アキノキリンソウ。

北穂高(南岳)のヒ形カールを見る。ヒ形カール

にして傾斜は急、全部雪□□□占めたり。半分位南側に岩石柱状節理なり。北岸は然らず。ヒメクワガタ、ヨツバシオガマ、ミヤマタネツケバナ、クモマスズメノヒエ、アオノツガザクラ、コメバツガザクラ、コメススキ、シロウマスゲ?、キバナノコマノツメ、コイワカガミ、ウサギギク、タカネウスユキソウ、イトキンスゲ、イワヒゲ、ツガザクラ、ミヤマコウボウ、イワウメ、ミヤマダイコンソウ、トウヤクリンドウ。

雷鳥7羽を見る。D点を越ゆ。イワキンスゲ、シナノキンバイ、チングルマ。

南岳を下る。ミヤマダイコンソウ、イワツメクサ、ミヤマクロスゲ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンバイ、チシマギキョウ、コメススキ、コメバツガザクラ、イワスゲ、タカネキスミレ、ミヤマノガリヤス、イワウメ、ミヤマシオガマ、ウシノケグサ、ツガザクラ、イワヒゲ、チシマニンジン。

◎ これより穂高岳。最低所大キレット 2800 m を下る。お花畑。ミヤマシオガマ、タカネヨモギ、シナノキンバイ、トウヒレン、ハクサンイチゲ、ハクサンボウフウ、アオノツガザクラ、キバナノコマノツメ、コイワカガミ、シラタマノキ、エゾノショウジョウバカマ、イブキボウフウ、タカネイブキボウフウ、タカネウラジロイタドリ、コケモモ、ヨツバシオガマ、ウサギギク、ウメバチソウ、ヒメクワガタ、ミツバオウレン、アキノキリンソウ、エゾシオガマ、ウラジロナナカマド、ミヤマキンバイ、マイヅルソウ、ムカゴユキノシタ、コメバツガザクラ、キバナシャクナゲ、イワウメ、タカネナナカマド、イワツメクサ、ゴゼンタチバナ。

北穂高岳。シコタンソウ、タカネキスミレ、ウシノケグサ、ムカゴトラノオ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンバイ、ミヤマノガリヤス、クモマスズメノヒエ、ウラジロナナカマド、タカネナナカマド、ダケカンバ、イワツメクサ、ミヤマコウボウ、ミヤマヌカボシソウ、イワヒゲ、ウラシマツツジ、イワベンケイ、チシマアマナ、タカネヤナギ、チシマギキョウ、ミヤマシオガマ、イワオウギ、チャボゼキショウ、イワノガリヤス、コメバツガザクラ、タカネツメクサ、タカネヌカボ、ミヤマツメクサ、ミヤマナズナ、ミヤマウイキョウ、ミヤマオダマキ、ヒメクモマグサ、シコタンソウ。

△ お花畑。ヒメイワショウブ、シナノキンバイ、ハクサンイチゲ、タカネヤナギ、シコタンソウ、ウメバチソウ、ミヤマホツツジ、ミヤマクロスゲ、トウヒレン(タカネも)、タカネヨモギ、ヨツバシオ

ガマ、キレハハクサンボウフウ、ミヤマシオガマ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、クロクモソウ、タカネダイモンジソウ、タカネミミナグサ、シロウマアカバナ、ミヤマキンバイ、モミジカラマツ、ヒメクワガタ、オクヤマシダ、シロウマスケ、タカネヤナギ、イトキンスゲ、ミヤマゼンゴ、イブキボウフウ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマナズナ、ハクサンイチゴツナギ、クロユリ、ヒメイワショウブ、イワスケ、ミヤマヌカボ、イワベンケイ、アオノツガザクラ、ジンヨウスイバ、タカネウスユキソウ、ハクサンフウロ。

8日出発。奥穂高岳に登る(涸沢岳)。ミネズオウ、ミヤマシオガマ、イワウメ、コメバツガザクラ、ハクサンイチゲ、イワスケ、イワヒゲ、チシマギキョウ、ウシノケグサ、タカネヤナギ、トウヤクリンドウ、ミヤマノガリヤス、ミヤマタネツケバナ、ミヤマダイコンソウ、コケモモ、イワツメクサ、ムカゴトラノオ、チャボゼキショウ、チシマアマナ、クモマスズメノヒエ、ミヤマヌカボシソウ、シコタンソウ、ミヤマコウボウ、マルバギシギシ、タカネイチゴツナギ、タカネキスミレ、ミヤマクロスゲ、ミヤマリンドウ、コイワカガミ、タカネダイモンジソウ、ジムカデ、チングルマ、ミツバオウレン、ヨツバシオガマ、キバナシャクナゲ、キレハハクサンボウフウ、キバナノコマノツメ、アオノツガザクラ、ミヤマダイコンソウ、タカネウスユキソウ、タカネナナカマド、イワナガヒゲ、イトキンスゲ。

□□極めて悪なる所を通る。最も険悪なり。ミヤマシケンダ、ヒメクワガタ、オオツガザクラ、タカネダイモンジソウ、タカネウラジロイタドリ、ヨツバシオガマ、タカネシオガマ、タカネヨモギ。

□□谷に槍沢谷と同一形成して、U字形をして梓川に通ず。ただ一面の森林(かん木)。

頂上に達す(涸沢岳頂上 3103.3 m)。イワベンケイ、シコタンソウ、イワスケ、ハクサンイチゲ、アオノツガザクラ、ヒメクワガタ、コメバツガザクラ、(山岳スケッチ 1 p. 省略)、ミヤマダイモンジソウ、ミヤマキンバイ、ミヤマクロスゲ、ミヤマシオガマ、タカネウスユキソウ、ミヤマタネツケバナ、イワツメクサ、ミヤマヌカボシソウ、チシマギキョウ、トウヤクリンドウ、タカネヤナギ、タカネツメクサ、イワオウギ、タカネウラジロイタドリ、キバナノコマノツメ、ミヤマダイコンソウ、チシマギキョウ、ハクサンイチゲ、コイワカガミ、コメススキ、キバナシャクナゲ。

真の奥穂高岳。シコタンソウ、ミヤマシオガマ、

ミヤマクロスゲ、イワツメクサ、イワベンケイ、イワスケ、コメバツガザクラ、イワヒゲ、チシマギキョウ、トウヤクリンドウ、ウシノケグサ、タカネヨモギ、ミヤマオトギリソウ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマキンバイ、クモマスズメノヒエ、ウサギギク、キバナシャクナゲ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマヌカボシソウ、タカネヤナギ、キバナノコマノツメ、ハクサンイチゲ、コメバツガザクラ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、タカネウラジロイタドリ、ベニキバナシャクナゲ、ミヤマノガリヤス、タカネイチゴツナギ、チシマアマナ、ミヤマツメクサ、ジンヨウスイバ、クロクモソウ、ヒメクワガタ、ミヤマタンポポ、シロウマスケ、ミヤマシオガマ、コイワカガミ、ウサギギク、ハクサンイチゲ、イワヒゲ、タカネイチゴツナギ、シコタンハコベ、ムカゴトラノオ、クモマダ、ジムカデ、コケモモ、キバナシャクナゲ、ハイマツ、ミヤマコウボウ、ミヤマノガリヤス、イワオウギ、ミヤマオダマキ、シコタンハコベ、ミヤマウイキョウ、リシリカニツリ、チシマイワブキ。

頂上。イワギキョウ。

奥穂高岳第三峰。ミヤマダイコンソウ、アオノツガザクラ、キバナノコマノツメ、ショウジョウスゲ、ハクサンイチゲ、イトキンスゲ、アキノキリンソウ、タカネウスユキソウ、タカネヒカゲノカズラ、コイワカガミ、ヒメクワガタ、コケモモ、クモマスズメノヒエ、ウサギギク、ハクサンボウフウ、ミヤマヌカボシソウ、イワスケ、コメバツガザクラ、キンスゲ?、イワギキョウ、トウヤクリンドウ、ヒメヨツバシオガマ、オノエスゲ、タカネダイモンジソウ、イワツメクサ、タカネウラジロイタドリ、イワウメ、タカネトウヒレン、ミヤマノガリヤス、タカネヤナギ、イワヒゲ、ガンコウラン、ミヤマキンバイ、ミヤマヌカボ、ミヤマコウボウ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマクロスゲ、ジムカデ、キバナシャクナゲ、クモマダ、コメバツガザクラ、ツガザクラ。

前穂高岳にかかる。ミヤマダイコンソウ、コメバツガザクラ、ハクサンイチゲ、イワスケ、イワヒゲ、ミネズオウ、ガンコウラン、ミヤマクロスゲ、コケモモ、タカネヨモギ、イワベンケイ、タカネヤハズハハコ、イワギキョウ、チングルマ、ミヤマコウボウ、

前穂高岳頂上近し。タカネヤナギ、チシマニンジン、ヨツバシオガマ。

頂きより下る。三本槍を見る。タテカネウラジロイタドリ、コメススキ、イワスケ、ハクサンイチゲ、ハイマツ、ミヤマクロスゲ、ミヤマキンバイ、ミヤマダイコンソウ、コケモモ、アオノツガザクラ、ト

ウヤクリンドウ、イワツメクサ、イワウメ、イワヒゲ、アキノキリンソウ、ウサギギク、(山岳スケッチ1p.省略)、ツガザクラ、ミヤマゼンゴ、オンタデ、タカネヨモギ、ハクサンボウフウ、ミヤマダイコンソウ、ウラジロナナカマド、コイワカガミ、チシマニンジン、ミヤマヌカボ、トウヒレン、タカネナナカマド、タカネダイモンジソウ、ベニバナイチゴ、ミヤマホツツジ、モミジカラマツ、ヨツバシオガマ、ウサギギク、コバイケイソウ、ミヤマメシダ、イワノガリヤス、イワオウギ、ショウジョウスゲ、イワベンケイ、クロクモソウ、ダケカンバ、ミヤマハンノキ。

傾斜面の岩面に縦に擦痕あり。ミヤマアザミ、キオン、タカネウラジロイタドリ。

この辺の谷の両側は柱状節理なり。オタカラコウ、ミヤマドジョウツナギ、ヤグルマソウ、イタドリ、ヨブスマソウ、ミヤマシシウド、ヒロハヤマハハコ、ニガナ、メイゲツソウ、ハクサンフウロ、イワノガリヤス。

雪溪に達す。ダケカンバ林あり。カール内は、皆植物帯降下し居れり。

林道に出ず。ヤマヨモギ、ミヤマハンノキ、タカネザクラ、オガラバナ、ベニバナイチゴ、イノデ、ミヤマメシダ、オオヒョウタンボク、イワブキ、ルイヨウショウマ、クロツリバナ、クルマユリ、ウラジロナナカマド、トウヒレン、ホソバトリカブト?、クロウスゴ、ゴゼンタチバナ、ヒロハツリバナ、コメツガ、シラベ、ナナカマド、ナガバスノキ、コヨウラクツツジ、コケモモ、ツルツゲ、シロシャクナゲ、サワダツ、シラネウラボ、ミヤマワラビ、ミヤマハンノキ、エゾノヨツバムグラ、クガイソウ、ミヤマチドリ、ニガイチゴ、ソバナ、クサボケ、ハクサンフウロ、ホタルブクロ、エゾシオガマ。

針葉樹林に入る。灌木林との境界は極めて判然せり。

△ 六百山登山。8月9日(五千尺旅館発)。ヤマカモジグサ、ハンゴンソウ、イワオウギ、ウメバチモ、クガイソウ、アブラガヤ。

上りにかかる。この辺潤葉樹林帯上部なり。ミヤマワラビ、ゴゼンタチバナ、ニワトコ、マイヅルソウ、コメツガ、ミネカエデ、ミヤマヘビノネゴザ、ヤグルマソウ、タケシマラン、シノブカグマ、イワガラミ、バイカウツギ、カツラ(シナノ)、ミヤマカタバミ、エンレイソウ、ツノハシバミ、コミネカエデ、ウサギシダ、シナノキ、サワアジサイ、ズダヤクシュ、イワノガリヤス、ハリスゲ、コマガタケ

スグリ、ミツバヒヨドリ、ソバナ(細葉)、イタドリ、ミヤマオトギリ、ナナカマド、ミヤマウラジロイチゴ、ヤマヨモギ、ウド、タニウツギ、ヤマブキショウマ、クロクモソウ、ミヤマドジョウツナギ、ササゲ、ハクサンオミナエシ、コメツツジ、ホツツジ、イワカガミ、マイヅルソウ、ヤマヌカボ、タカネコウボウ、ヘビノネゴザ、シノブカグマ、ヤマホトトギス、コバノイチヤクソウ、アキノキリンソウ、オオカメノキ。

この辺、コメツガの純林なり。ヨツバヒヨドリ、ミヤコザサ、ヤマハンノキ、イワギボウシ、ソバナ、ウド、キオン、ノリウツギ、アオダモ。

岩上。ヒメコマツ、コオニユリ、ソバナ、ヤマオダマキ、イワキンバイ、シナノシモツケ、ツルデンダ、ダイモンジソウ、ミヤマアキカラマツ、タチツボスミレ、コカラマツ、ニガイチゴ、イワガリヤス、ミヤマウラボシ、ウラジロハナヒリノキ、コメツツジ、コイワカガミ、イワガラミ。

以上、角岩の岩壁。イブキボウフウ、ヤマブキショウマ、ヤグルマソウ、イタドリ、ヤハズトウヒレン、ゴマナ、キヨタキシダ、クロベ、イワギボウシ、オオメシダ、センジュガンピ、ミヤマタニソバ、オオバミゾホオズキ、テンナンショウ、エゾノヨツバムグラ、イワガネゼンマイ。

この辺、石英斑岩。この辺の岩石は穂高岳と同一なり。ミヤマメシダ。

△ 一の尾根(六百山の)上に達す。コケモモ、(ナガバ)スノキ、ホツツジ、ネコシデ、ミヤマシグレ、タカネザクラ、カラマツ、ヒメコマツ、ナナカマド、イワカガミ、ヤマソテツ、トゲブキ、ミヤマホツツジ、スノキ、コミヤマカエデ、ツマトリソウ。

この辺上部針葉樹帯にしてコメツガ、トウヒを交ゆ。ミヤマハンノキ、シロバナシャクナゲ、ハイマツ、ナナカマド、コケモモ、ネコシデ、オオバスノキ、ミネカエデ、コヨウラクツツジ、イワカガミ、クロウスゴ、ゴヨウイチゴ、イタドリ、ヤグルマソウ、クロツリバナ、ミヤマシグレ。

△ この辺、一帯はトウヒ、コメツガの混交林なり。カラマツ、ヒメコマツ少し。

△ 小岩石帯ありて、この辺周囲は皆、ダケカンバ、ミヤマハンノキ林なり。ミヤマダイコンソウ、ダイモンジソウ、ミヤマヘビノネゴザ、イワガリヤス、タカネニガナ、マイヅルソウ。

△ 灌木帯に出ず。チョウジコメツツジ、イワツメクサ、シロシャクナゲ、ハクサンオミナエシ、ツマトリソウ、アカミノイヌツゲ、ダケカンバ、クロ

ウスゴ、タカネザクラ、クロツリバナ、ヤグルマソウ、ツリガネツツジ、ウラジロハナヒリノキ、イタドリ、マイヅルソウ、ハイマツ、ミヤマハンノキ、トウヤクリンドウ。

△ 岳鳥の声を聞く。中飯す。（ナガバ）スノキ、タカネナナカマド、オオカメノキ、ミヤマオトギリ、タカネザクラ、オオバショリマ、ミヤマメシダ、ベニバナイチゴ、ミネカエデ、ハリブキ、オオバスノキ、ホザキカエデ、イタドリ、ゴヨウイチゴ、オヤマソバ、チョウジコメツツジ、イワツメクサ、チシマギキョウ、タカネイバラ。

△ 2等三角点に達す。シロシャクナゲ、ハイマツ、コケモモ、ナガバスノキ、シラベ、ダケカンバ、ハナヒリノキ、ウラジロナナカマド、イワノガリヤス、クロウスゴ、ツマトリソウ、イワカガミ、ミヤマメシダ、クロツリバナ、マイヅルソウ、シラタマノキ。

◎ 六百山頂上出発（この辺一帯カン木帯なり）。トウヤクリンドウ、コケモモ、チシマニンジン、トウヒ、シラベ、ミヤマヌカボ、ハイマツ、ミヤマハンノキ、ミヤマホツツジ、ネバリノギラン、ツマトリソウ、オヤマリンドウ、タカネアオヤギソウ、モミジカラマツ、オオバキスミレ、オオヒョウタンボク、タカネナナカマド、クロツリバナ、ハクサンボウフウ、アキノキリンソウ、ヒメスゲ、ミネカエデ、ミヤマメシダ、ミヤマキンバイ、イワベンケイ、チシマギキョウ、カラマツ、ミヤマウイキョウ、オヤマソバ、イワオウギ、ツガザクラ。

この辺、角□□岩所々に露出す。やや大なるお花畑あり。ハクサンフウロ、ヒトツバヨモギ、ミヤマシシウド、エゾイブキトラノオ、オオバキスミレ、（コ？）バイケイソウ、タカネトウヒレン？、ミヤマキンポウゲ、ミヤマヒメアザミ、ヤマハハコ、カラマツソウ、オンタデ、タカネアオヤギソウ、エゾカンゾウ、ミヤコザサ、タカネキスミレ。

△ 一岩峰に出ず。イワヒゲ、イワウメ、コメバツガザクラ、ハクサンチドリ、エゾノショウジョウバカマ、ミヤマヤナギ。

この辺、両山の間？。お花畑あり。エゾカンゾウ、ハクサンフウロ、ヒトツバヨモギ、オオバショリマ、ミヤマハンノキ、ダケカンバ、モミジカラマツ、オオバユキザサ、コバイケイソウ。

△ 六百山・霞沢岳に「オヤマソバ」を多産するは、本山脈・常念山脈の一系たるを□（分布上より）するものにして途中 2000 m 辺□□森林帯まで低下するは、あたかもより分布系統を□脉するは、この

依中も山背を□って分布し来たりしことを証明するものなり。而して槍穂高連峰に本種なきは、有力に往古より本山脈に別系統の分布区域たることを証するものとす。またこの連峰中餓鬼岳山嶺にはオヤマソバ（あるいはあらん）を見ざりしを、コマクサは之に代わって広く常念山脈に分布する（餓鬼岳より横通岳の間）は之また槍穂高連峰に（コマクサ）なきものとして本山脈の分布的特徴を発揮するものなり。而して喜作新道一帯にはオヤマソバもコマクサも見ざるは、この尾根の槍ヶ岳の一支脈たるものと見□して可ならんか。

以上の事実に日本がかつて極寒気候を有し、（氷期）植物帯は非常に降下せしことと了□□、明かに分布系統なるものを有し、□りに□所□所に散乱分布するものにあらざることを証するものとす……以上 2 大事実。

△ 六百山の古来の迷信を打ち破る。学理的に世人の迷伝迷信を一掃せり。

△ 霞沢岳の前の一岩峰頂にて、キヌガサソウ、ミヤマヌカボシソウ、シコタンソウ、オオバタケシマラン、ミヤマヌカボ、イワスゲ。

△ 第二頂上……コメススキ、ハナヒリノキ、シナノキイチゴ、ツバメオモト。

△ 霞沢岳頂上。ミヤマコウゾリナ、ウサギシダ、ガンコウラン、タカネイバラ、ヤマハハコ、ハクサンボウフウ、ハクサンフウロ、オヤマリンドウ、チシマニンジン、バイケイソウ（コ？）、イワカガミ、コイワカガミ、エゾノショウジョウバカマ、コメススキ、マイヅルソウ、ハナヒリノキ、ハクサンイチゲ、ミヤマハンノキ、アキノキリンソウ、ハクサンボウフウ、コケモモ、オオバスノキ、クロウスゴ、ネバリノギラン、イワノガリヤス、ニガナ、タカネナナカマド、ウラジロナナカマド、ミヤマホツツジ、ヒメスゲ。

△ この縦走に 5 時間半を費やせり。シロシャクナゲ、ネバリノギラン、ヤマブキシヨウマ、オオバショリマ、ヒメミヤマアザミ、キジムシロ、キバナシャクナゲ、ガンコウラン、ミツバオウレン、ミヤマダイコンソウ、イワウメ、ツガザクラ、チングルマ、アオノツガザクラ、モミジカラマツ、オヤマリンドウ、ミヤマヌカボ、クロユリ？、オオヒョウタンボク、クロツリバナ、ミヤマヤナギ、ショウジョウスゲ。

△ 頂上の西方平地に野営す（8月9日）。

8月10日。霞沢岳の泊地を東方に進み下る。タカネスイバ、イタドリ（メイゲツソウ？）、イブキ

ぜり、タカネアオヤギソウ。

谷を下る途中の溪間に雪あり。ミヤマドジョウツナギ、ヒトツバヨモギ、イワオウギ、エゾカンゾウ、ウラジロアザミ、クガイソウ、ミソガワソウ、ミヤマシシウド、ヤグルマソウ、ハイマツ、ダケカンバ、ミヤマハンノキ、オオバスノキ、以上かん木帯。

カスミ沢を下る。ツルデンダ、カツラ、イタヤカエデ、イワデンダ、クリ、ヤマニガナ、トチノキ、キイチゴ、タマアジサイ、ニシキギ、マユミ、ハウチワカエデ、コウゾリナ、イタヤカエデ、アオダモ、ウスユキソウ、ウラジロモミ、オオバセンキュウ、タマアジサイ、キオン、ダンコウバイ、フキ、ノリウツギ、ヤマハンノキ、フジアザミ、センジュガンピ、ミヤマカラマツ、オオバヤナギ、ハナイカダ、ベニバナフウロ。

沢渡（霞沢と梓川の合する所）に出て、ツリ橋を渡り対岸に出ず、下る。トクサ（大群落あり）、カヤ、ホガエリガヤ、コタニワタリ、ヤマルリソウ？、タチツタウルシ、シナノナデシコ、ミヤマママコナ、

クサボタン、サワシバ、ジャニンジン。

8月10日夜帰宅。（山岳スケッチ1p.省略）。

○ アルプスで眺めの良いのが燕岳、千草八千草花咲く中に、遊ぶ雷鳥が面白や、雲の切れ間に槍を見る。

○ アルプスで一番高いが槍ヶ岳、登る鎖は怖けれど、雪の消え間に花を見る。峰で見せましょご来光。

○ アルプスで一番凄いのは穂高岳、登るも下るも命懸け、二場所三場所じゃあるまいか、ここで友達ふるえ出す。

○ アルプスの雪の雫があつた梓川、流るる清水や白樺を赤い夕日が照らす時、今日も行きましょ上高地。

○ 六百の山の伝説凄惨なもの、毒ガス帰らずさまたと語り伝えし愚かさよ（おかしさよ）、今日はまた畑とかき消えさる。

○ 一万五百尺甲斐の白峯は高いもの、千山萬岳眼下に眺め、雪やお花をちりばめて悠然として聳え立つ雲の上。